

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	医療政策課	氏名	植田 隆則
派遣先 団体名	任意団体 イワミノチカラ		
① 研修の日時 平成 26 年 10 月 11 日（土）、11 月 9 日（日）、11 月 23 日（日）、11 月 24 日（月）			
② 研修の内容（できるだけ詳しく記載してください。） 体験型プログラム「いわみん」の会場準備、参加者の受付、集金、進行管理 等			
<ul style="list-style-type: none"> ●10月11日（土）イノシシ革クラフト教室（浜田市三隅町） 地域のイノシシ被害の現状や有効活用策の話を交えながら、イノシシ革によるキーケースの作成体験 ●11月9日（日）海洋館アクアスのバックヤード見学ツアー 普段は見ることのできないアクアスの裏側を見学＝主に子供連れの参加が多数。 ●11月23日（日）納豆づくり体験（川本町） 地元の農業法人が作られた大豆・米を使い参加者と一緒に納豆作りやもちつき体験。 ●11月23日（日）歌声喫茶（江津市） 地元バンドによる演奏を参加者と一緒に聴きながら談笑。＝年配の方が多数。 ●11月24日（月）弥栄まちあるきツアー（浜田市弥栄町） 街の歴史や自然の説明を受けながら、地元案内人による街歩き。 			
③ 研修の感想 （研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想（研修前後における意識の変化）等について記入してください。）			
<p>今回の研修を通して大きく印象に残っているのは、地域にはこんなにも熱い思いを持って地域活性化を目指して活動している方が多くいるということです。小規模ではあるけど、自分たちのできる範囲で地域を元気にしたいという思いで活動しておられる方々と直に触れ合い、たくさん話をさせていただいたのは、非常に勉強になりました。こうした地域で思いを持って活躍する方々こそが、島根の一番の魅力（宝）であると感じました。</p> <p>この「いわみん」というプログラムは、小規模などの理由であまり表に出てこず、知られていない島根の魅力（宝）にスポットを当て、島根の魅力を広く伝えることのできるものであり、大きな意義のある活動であると感じました。</p> <p>また、地元の方の参加も多く、こういった方々が知らなかった・気づかなかった地元の魅力を再発見する場でもあり、地元住民がふるさと愛やふるさとへの誇りを持つことのできる貴重な場でもあると思いました。</p> <p>小規模だけどキラリと光る「人」が島根の最大の魅力だと感じられたのは自分自身にとって最大の収穫であり、今後の県職員生活の中でも大きな糧となる経験でした。</p>			

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

伊ワミノチカラでの研修は、ぜひ引き続いて実施していくべきかと思えます。

県職員として必ず有益な経験になると思えます。

(注)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。